



「えくえ！」

代表幹事 相馬 實

シャープ社友会
広島支部会報
ひびき 第34号

主要記事

1面
2面
3～6面
7～8面

春夏秋冬
アンケート集計結果
HOW DO YOU DO
セミナー&賀詞交歓会

9面
10面
11面
12面

十七年度方針の基本的な考え方
役員会だより
連絡事項
社友短信・新会員の紹介

世の中には自分自身で経験しな
いと信じられないことがあります。

例えば、靈感の強い人が経験したと言われる事象
は、単純に否定は出来ないが、さりとて科学的に証
明もできないため肯定も出来ません。

ここに述べるのは私が実際に経験した事項です
が、信じてもらえますか？

其の一 みんなで乗れば恐くない

所用でシンガポールのホテルに泊まった時のこ
とです。

朝食を取るため1人でエレベーターに乗り、1階に
着いたので降りようとしたが扉が開きません。

しばらくするとエレベーターはそのまま上がり
始めました。この時は“えくえ”という感じでした
が、乗り込んだ階まで上り停まりました。また扉が
開きません。しばらくするとまた下り始めた時は
“これはヤバイ”と恐怖を感じました。

更に1階に着き、また扉が開かず上がり始めた時
は恐怖の頂点に達し、“私もこれまでか”と覚悟を
決めました。(多分顔面蒼白になっていたと思いま
す)

しかし、次に上昇し乗り込んだ階に着き、扉が開
いたときは“助かった”と思い慌てて出ようとしま

した。

その時、三人の中国人らしい人が乗り込んできま
した。私は“このエレベーターは危険だ”と言った
のですが、彼らは“大丈夫、一緒に行こう”と私を
誘いました。この時何故か今までの恐怖心が何処か
へ飛んで行き、また乗り込んでしまったことが不思議
でなりません。

仲間が出来たので安心したのか、危険だといつた
のに“大丈夫”と私の忠告を無視した人に“だから
言わないことはないのに！”とやってやりたかった
のか？

しかし1階に着くと、今度は何事もなかったかの
様にエレベーターは止まり、扉が開きました。

さっきの異常は何だったのか？ 単にエレベ
ーターの制御機能に一時的障害が発生したのか、また
は、エレベーターの霊が私に悪戯をしたのか？

この話には誰にも信じてもらえないだろうし、異常
発生中の私の気持ちも理解してもらえない事と思
います。

其の二 キャー

SRCへ赴任してしばらくしてのこと。仕事中に
“きゃー”という叫び声を聞きびっくりしまし

た。

“あれはヒステリーで、時々起こる”と仲間は平気
な顔をしていました。

ヒステリーを起こすのは女性で、宗教的要因とい
われていましたが、定かではありません。

気にはなりましたが何度か経験すると慣れっこ
になってしまいました。慣れとは恐ろしいもので
す。

ある日のことヒステリーが次々と連続発生し、収
集がつかなくなりまりました。1人、2人ならともか
く、10人以上に叫びながら、走り回られては仕事ど
ころではありません。

直ぐさま工場を閉鎖し、全員建物外に退去させま
した。初めて目の前で見て、その恐ろしさに驚きま
した。

急遽対策会議を行い、現地マネージャーのアドバ
イスに従い、ボンモウ(イスラム教の僧侶)を呼び、対
応策を教示してもらうことになりました。

数日後、ボンモウの指示に従い、グラウンドに祭
壇を設け、“黄色いご飯”や“ヤギの血”などを供
え除霊の儀式が行われました。我々異宗教の者は、
遠くで傍観するのみでした。

しかし摩訶不思議と言いましようか、その後ヒス
テリーは嘘のように発生しなくなりました。

この目で一部始終を見届けたのですが、夢でも見
たかのように、自分自身も信じ難い思いがありまし
た。

計報緊急連絡方法のアンケート集計報告

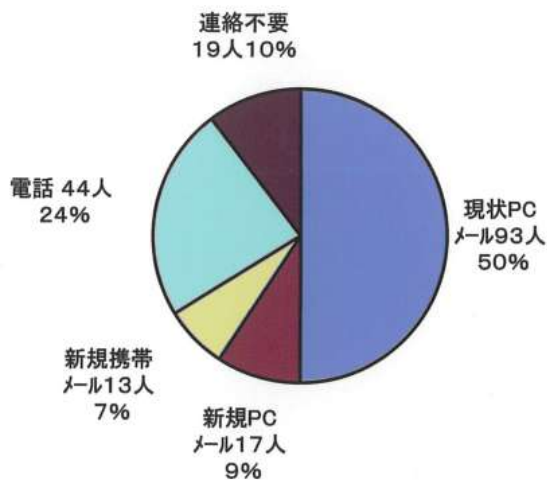
1) 実施要領

- ・はがきによるアンケート実施期間 2004年11～12月。対象会員数177名。
- ・アンケート回収率84% (149名/177名)
- ・未回答者28名に対し、電話連絡及び賀詞交歓等により調査。
- ・アンケート終了後の新入会員10名を加えて187名で集計。
- ・但し、2月24日1名死去により186名。

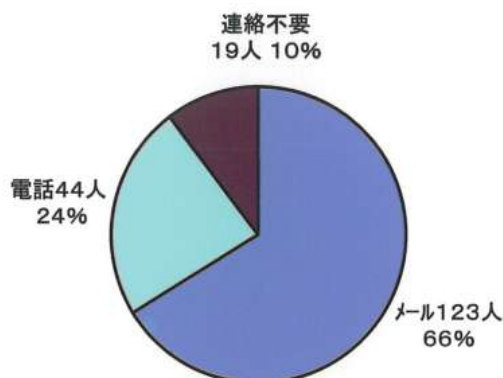
2) アンケート集計結果

分類	連絡要						連絡不要	合計
	現状 PCメール	新規 PCメール	新規 携帯メール	電話				
A	93	17	13	44			19	186
B	123							
構成比	66%			24%			10%	100%

A・明細



B・まとめ



3) 新緊急連絡体制表(電話会員)

実施は5月1日より実施。(4月上旬に定期総会開催案内書と一緒に郵送する)

アンケート調査の結果、電話による緊急連絡を希望する会員を対象に編成する。

対象会員の住居地域を9地域に区分して、役員上側より、順次同一地区5名ずつ割り当て担当する。

4) Eメール会員への緊急連絡体制アンケート調査の結果

Eメールで緊急連絡希望する会員を対象にする。

正式には5月から実施予定していますが、その前に於いても不幸にして、弔事が生じた場合は、総務担当幹事(東)が、パソコンと携帯電話へ一斉連絡を致します。

平成16年度第10戦の成績
(NETスコア)

第78回コンペ(18H) (3/16賀茂C/C)		
順位	参加者	p a r
1	丸山	-3
2	山口(剛)	0
3	山田(晃)	+1
4	山本(博)	+1
5	山内	+3
6	勝山	+4
7	佐々木	+4
8	出口	+6
9	広瀬	+6
10	今村	+6
11	榎見	+6
12	嵐	+7
13	鈴木	+8
14	杉山	+8
15	伊藤	+8
16	新宅	+9
17	津郷	+9
18	清田	+11
19	小谷	+13
20	西尾	+13
21	長谷川	+14
22	森本	+15
23	明石	+19
24	奥村	+20
25	河上	+20
Nピン	出口	
	出口	
	今村	
	伊藤	

ゴルフ

04 グランドチャンピオン
丸山さんが獲得

第78回コンペは、今年最初のコンペであり、1月、2月の自主トレニング後の今期最終戦でもあります。しかも、月例に加えてグランドチャンピオン2004をかけたイベントも兼ね備え、エントリー12名の熾烈な戦いも予想され各選手が思惑を描きながら朝霧についてのスタートでした。

結果は成績表の通り。今期の平均ストローク98を9ストロークも上回るネット3アンダー優勝でした。

更に、グランドチャンピオン2004も獲得とダブルの喜びとなりました。ちなみに、昨年のグランドチャンピオン2003は21位と出遅れたり、また7位にランクアップした選手の成長ぶりも見逃せない結果となりました。

表彰式の場では発足以来、いつも關心の高い利害がらみの話題となり、ハングディ改定やご褒美についての話し合いに花を咲かせました。

新年度4月は宮島志和カントリークラブで4月13日(水)、5月は安芸カントリークラブで5月23日(月)第80回記念大会を計画しており、乞うご期待。

同好会の概要

- ・平成8年12月4日 第1回コンペ参加者8名。同好会発足。
 - ・現在登録会員数 53名
 - ・参加会員数 45名
 - ・招待会員数 6名+同伴家族α
- コンペ回数 78回
(H17 3 16現在)

ダンス
スポーツ

「新しいベテラン指導者を招き、更に充実」

当同好会は現在、男性6名、女性9名の総勢十五名で活動中。

一月からは新しい会員も増え、全員で楽しく練習に励んでおり、昨年一通り完成したワルツの基本一周に加えてタンゴを重点的に練習しており、現在は半周の基本を繰り返して一周を完成させて踊れるようになりました。

三月からは、これまでのステップ重点の練習に加えて、三月から新しく十年以上のキャリアを持つ女性指導者を招き、ステップはもちろん、正しい姿勢や方向なども加え更に充実させて行く方針で進めて行きます。

練習の状況としては、練習時間二時間の前半を男女別々に基本的ステップや姿勢、方向などの指導を受け、後半は男女が組んで見て、その時のそれぞれの動きの大きさやタイミングな



スポーツセンターでの練習風景

どを習得します。後の一時間は参加自由時間として、各自の復習、練習を行っています。

四月からは、新しい種目も加えて更に、巾を広げて行きたいと考えています。

絵手紙

初めての『絵手紙』作品展

昨年の5月に発足した、絵手紙同好会も1年が経ちました。月2回第2・4の土曜日に社友会室で学んできました。

会員は今15名です。下手でいい、下手がいいをモットーに迫谷先生の指導でスタートしました。

絵手紙を描くのが初めての方がほとんどですから、画材の購入からの教室でした。

先生が、年間のカリキュラムを創ってくれましたので、その計画にもとず



花や野菜などを明るい色で描いた作品に見入る来場者



絵手紙や水彩 熟年の味わい

東広島市社会福祉協議会の「熟年大学」を卒業した市民による絵手紙と水彩画の同好会が、同市西条栄町のフジグラン西条駅前店内の市民ギャラリーで作品展を開催している。シャープの定年退職者をつくる絵手紙同好会も出品している。二十七日まで。満開の桜の花の絵に春が来た喜びの言葉を添えた作品など絵手紙約五十点と、安芸山達さん(六六)は「季節を見る目が素晴らしい」と絵手紙に見入っていた。熟年大学は同社協が高齢者の生きがいづくりにとパソコンやダンスなど十六講座を用意。絵手紙と水彩画の卒業生は講座終了後も、もっと学びたいと同好会を一年前につづけた。計十七人が月二回、市内で勉強を続けている。

同好会が作品展 東広島

グラウンドゴルフ

開催されました。みんな自信が付いたと同時に、絵手紙を描く事が楽しくなったのではと思います。これを機に4月からまた、新しい気

暖かい春が待ち遠しい

いつまでも寒い日が続いており、グラウンドゴルフの活動にも少なからず影響を受けております。年賀会の際にもお伝えしましたが、真冬の間は、シャープスポーツセンターで活動し二月の後半から時間をズラして第三工場へと、更に三月中盤からは時間も正規の十時に戻し活動の

持ちで勉強したいと思えます。

川田 記

機会を求めています。

しかし、どう工夫したとしても冬場は参加者も少なく大会を開催するほどの環境は整わず、小人数で細々と練習を繰り返しております。もうすぐ年度末いよいよ待望の春がやってきます。



これからは太陽のもと思い切ったプレーを楽しむことが出来ます。そして昨年濱川さんが優勝された市民グラウンドゴルフ大会もやってきます。この大会は市民であればどなたでも参加できます。4月16日(土) 東広島市運動公園で開催されますから、当日9時までに会場へ行き受付へ参加の意志表示をするだけでプレーできます。用具も会場で貸してくれます。多くの人の参加を期待します。

記 河上

あるこう会

年間活動計画表を作りウォーキング&エンジョイ!



あるこう会(土庫丸→龍王山)コース 2005年2月5日

2月5日 竜王山にて

今年1月に会員有志が集まって、年間活動計画書を作成し会員に配布した。

今年は、定例の市内コース(三つ城公園・龍王山)を減らして、県内で開催される四季のイベントへ積極的に参加する。

あるこう会員(紅葉会)小松恵さんのホームページとリンクして「ある

こう会ニュース」を開設した。楽しかったウォーキングニュース及び、次回計画ニュース等を会員へ都度発信する。皆様も是非一度訪問ください。

URL : <http://www.geocities.jp/rinn53kann/index.html>

写そう会

発足後、初の作品展を開催

年初に開催された社友会賀詞交換会の場を利用して「写そう会」発足後、初の作品展を開催しました。昨秋に開催した「佛通寺」での「紅葉」



あるこう会との合同例会 尾道駅前にて

撮影会を中心に、日頃から個別に撮影した会員の作品を纏めたものですが、賀詞交換会に出席された社友会会員の方からも大変好評を博しました。又、1月の例会では、会員アドバイザーの濱川さんによる、写真撮影の基本とさ

れる「露出」をテーマとした勉強会を開催し、会員の個々の写真技量向上に役立ちました。

続く2月の例会では、他の同好会との活動交流促進の一環として、「あるこう会」との合同例会企画「古都尾道」での撮影会を開催し、同好会間の交流を図りました。

当日は、生憎、終始、雨に降られました。尾道の海岸通りや小雨に煙る古寺の坂道と石段を上り下りしながら、気に入った被写体をカメラに収めて撮影予定コースを回りました。

3月の作品講習会では今冬、個別に撮影した力作を持ち寄る中で、2月の撮影場所となった雨の尾道を中心とした優秀作品が紹介され、「しっとり感」と「趣き」のある写真に話題が集中し、雨天の写真撮影効果についての認識を新たにしました。

4月上旬には、「桜」をテーマとした春季撮影会を計画しており、これを基に5月に開催される社友会定期総会の場を利用して、第2回の作品展を開催する計画にあります。

現在、会員も22名に増加し、定例活動日には銀塩カメラとデジカメの愛好家が同居する中で、撮影会、講評(品評)会、勉強会を1サイクルとして、益々、会の活動が活発化しています。

写真に興味のある方、気軽に例会を覗いて下さい。

【写そう会リーダー 谷水】

囲碁、将棋

噂の対決? 手に汗握る熱戦!

先の二月の定例活動日では、珍しい対戦を見る事が出来ました。細井博文さんも堀雅晴さんも例会日はよく覗いてくれるのですが、対戦はせず黙って様子を伺っているといった具合だったので。遂にこの両者が対戦。

常連メンバーの徳永さんの弁を借りると「我々と全然レベルが違うわ!(レベルが高い)」との事。

さては細井さんも堀さんもお互いに自分の相手として相応しい腕前の人があるのを待っていたのかな? どうやら最後は細井さんの勝利の様でしたが手に汗を握る熱の入った一番でした。

定例活動は毎月第一月曜日、十時半から十二時、社友会室で行っています。囲碁、将棋の不得手な人は情報交換だけでも楽しいですよ。どうぞお立ち下さい。



文中の対局 左 細井さんと 右 堀さん

釣り

今春は不漁
残り一ヶ月に期待

3月1日(火)
参加人員は5名、狙いの対象魚はメバルです。ところが今年のメバルは釣れません。何故釣れないのか解りません。船頭さんも解らないそうです。

メバル釣りは例年でしたら、12月から釣れはじめて4月までがシーズンです。本当でしたら3月は一番良く釣れるころです。20cmから30cmが一人、20匹が例年の釣果です。

メバルについて少し記します。メバルは春あげ魚で知られていますがこれは本メバルのことです。他に金メバル、ホゴメバル、フジメバル、黒メバルが私の知っている種類です。

メバルは一年中釣れますが、釣人が狙うのは本メバルです。潮の温度が下がる12月になると産卵のために食いがたちます。(メバルは卵は産みません。腹の中で



カレイを誇らしげに…?

第25回ボーリング大会成績

順位	参加選手名	HDCP	1	2	TOTAL
優勝	H・G賞 喜田 栄禧 (7)		292	189	481
準優勝	ノミズ賞 坂田 広海 (13)		194	247	441
3位			204	210	414
4位			198	178	376
5位	飛び賞 長谷 正勝 (33)		199	177	376
6位	H・G賞 川田 芙美子 (33)		181	180	361
7位	ラッキー賞 細井 博文 (15)		201	157	358
8位			156	199	355
9位			165	184	349
10位	飛び賞 山口 春香 (25)		167	182	349
11位			173	172	345
12位			167	167	334
13位			160	172	332
14位			171	155	326
15位	飛び賞 宅間美知子 (55)		179	145	324
16位			158	161	319
17位	ラッキー賞 西尾 弘 (26)		158	155	313
18位			156	154	310
19位			144	162	306
20位	飛び賞 藤田 喜弘 (0)		133	169	302
21位			152	150	302
22位			172	130	302
23位			159	133	292
24位			140	148	288
25位	飛び賞 土屋 積 (27)		159	128	287
26位			131	154	285
27位	ラッキー賞 山影 敦子 (55)		142	136	278
28位			141	130	271
29位	アービー賞 荒木 康弘 (16)		126	133	259
30位	飛び賞 星野 妙子 (51)		130	126	256

稚魚を孵化してだします。釣りに行くところの底に黒いぶつぶつが残っていることがあります。メバルの稚魚です。1月はいったん食いは落ちますが、2月3月になると、よく釣れる様になります。釣りがたですが、ふつう餌さ(海エビ、藻エビ)と擬餌餌(ルアー、カブラ等)があります。最近ルアー釣りが多いそうです。

本メバルは海底から1m〜5mのところにいます。ホゴ、フジ、黒メバルは底の石に隠れています。

したがって本メバルを釣るには重りが底についたら、すぐ1m上に上げる事です。底ですとホゴメバル、べら、が先に餌さをとりまします。5m上で釣れることもめずらしくありません。たかがメバルされどメバルです。今年もメバルのシーズンも後1ヶ月です。

【三月釣行余談】
お疲れ様。黒メバル、イマイチでした。メバル釣りで、なんでカレイを誇らしげ

に?
今更人に聞けないが、カサゴとホゴが同じ魚とは、最近知りました。(赤面)
つまり、別にカサゴがいるものと...

ボーリング

ハイレベルの戦いを制し
喜田さんが優勝

1月29日(土)第25回大会も回を重ねる毎に参加者も増え、今記念大会は30名(社友会18名、紅葉会7名、会員夫人5名)の最高の参加者となり、成績も記録に残る、過去にないハイレベルな戦いとなりました。

今回優勝された喜田栄禧氏(社友会)は第1ゲーム10フレ1投目時点でストライク連続の10個となり、残り2投で初の300点パーフェクト達成かと皆の期待が高まりました。

メバルの次は何ですかネ? 本格的なハゲ釣りをやってみたいです。
(当日参加の藤井良幸さんのEメールより転載)

10フレ2投目ストライク出ず、パーフェクト達成を飾ることが出来ませんでした。ハンディ込みで292点、これは暫く破られる事がない記録となりました。尚、今大会は第3位、牛田晴雄氏まで400点を突破するハイレベルな大会で締めくくる記念大会でした。

また大会開催は3回/年でありましたが、今年は4回とし、同好会の向上を図る事にしました。



平成17年 セミナー&賀詞交歓会

去る1月21日(金)恒例の新年賀詞交歓会およびセミナーをラポール広島において、社友会・紅葉会合同で開催しました。午前中のセミナーは「保険(生保・損保)」をテーマにファイナンシャル・プランナー 小林 晃氏(SFC)にお話頂きました。引続いて転倒防止など「高齢者のストレッチ体操」を広島

スポーツセンター 梅田所長より指導頂きました。

賀詞交歓会は出口支部長の挨拶、ご来賓の通信システム事業本部・総務部長(代理出席・千田副参事)の祝辞を頂いて新年を寿ぎ、久しぶりに参加された会員も交え、大いに親睦を図りました。



講演の要旨(抜粋)

- ・時間の経過は平等である。各家庭の状況、各家族構成について5年後、10年後の生活が、どうなるかを考えておく必要がある。
- ・夫婦で保険加入がどうなっているか、夫、妻の立場で保険証書を確認しておく必要がある。
- ・我々の世代は若い人たちに比べ、いい時に年金を受給している。これから先はインフレの対応が懸念される。物価が上がっても年金は制限され、上昇分が補償されるとは限らない。
- ・平成十七年は年金受給者の控除額が必ず減る。特に65歳以上の方は影響が大きい。
- ・公的年金の控除額は最低で20万円は減る。皆さんはもつと大きいかも。更に、老人控除の特典である50万円が廃止される。これらは國の年金を運用するために行われる。
- ・日本の社会保険の実力はすごいものがあるが、シャープはもつとすごい。
- ・シャープの健康保険は現役世代と定年後とでは、傷病手当給付を除いて同じである。健保の範囲であれば一ヶ月の医療費は月2万円を超える自己負担は還元される。
- ・ただし、健保範囲以外の高度先進医療、差額ベッド代、食事代の一部、雑費などは自己負担となる。
- ・従って、これらが各自の医療保障の必要保障額の目安になる。「がん保険」があると更に安心である。



写真上 講演中の小林 晃氏(ファイナンシャルプランナー)。 写真下 熱心に聴講する出席の皆さん。

- ・公的介護保険は40歳以上の方が強制加入であるが、赤字になっている。保険料を上げるか、給付を下げるかの問題がある。
- ・現在、老人と言われる65歳以上の方は二千二百万人いて、すでに介護を受けている方は二百二十万人という状況にある。
- ・医療保険で気をつけることでは、①保険料支払い方法には定額を支払う平準型と、ある期間で切替える更新型がある。更新型は初めは安い、年数が経つと保険料もかさんで来るので要注意。
- ②一入院の保障限度日数に注意。60日型の例でいうと、一入院は連続としているため、早期に退院した場合、残りの日数と休止期間(180日)が過ぎないと給付されない。再入院の時に要注意。
- ・誰でも入れますが保険の落とし穴
- ・シニア入院保険では、先ず、保険料が高い。
- ・1入院45日、通算120日と期間が短い。
- ・契約日から90日まで不担保である、など不利な条件が多い。

平成17年 賀詞交歓会写真アルバム

参加の皆さんとの懇親の様様



第12回 平成17年度支部総会 5月20日に開催

新たな『礎』を築く年に

総会は5月20日(金)、ラポール広島で開かれます。今年の総会は、特に重要と考えられます。即ち、二百名超を目前にしている支部会員数が、数年以内に爆発的に増加する時期にあること。同時に世代差・年齢差が拡大し、伴う価値観の相違や在職時の職歴も拡大し、「社友会」の存在意義すら不透明度が拡大する危険さえ考えられます。その意味から今年には新たな「礎」の構築や活動活性化の新規取組みを図る必要があります。

□役員体制の拡充
増員を含む体制強化を図ります。同時に在任六年を超える役員退任による、補充を幅広い世代から行います。

□同好会活動の活性化
四月一日現在の同好会は、別表の通りですが、サークル数は十一に増加しています。同好会への支援予算も見直し、新規同好会の発足にも、積極的に関与勧誘の働きかけを行います。

□招待会員の拡大
招待会員制度のPRに努め、運用の定着化を進めます。

□広報体制を刷新
現行の会報「ひびき」の発行を支部ホームページ公開を機に「広報活動」を整理します。「ひびき」はこれまで通り年四回の

発行を維持しますが、会員よりの「主張」や「近況」などの投稿の比重を増加させ紙面を刷新します。ホームページでは「広報委員会(仮称)」による「監理」のもとに、会報とのすみわけを行い、速報性に主体を置き、同好会活動をサポートする運用を図ります。

□緊急連絡網の再編成
緊急連絡網を再編成しますが、広島県外居住会員増大に伴う諸要因から、地域別連絡体制に併せ、地域別会員グループ化についても具体化を進めます。

特に、会員の訃報については、会員相互の知遇の有無や在職時の関連、会員の新旧などに関係なく総て連絡すべきだと考えています。そのためには、ご家族等からのご一報を頂けることが肝要です。その、条件整備を併行して進めていきます。



平成16年度(第11回)定期総会での出口支部長



平成16年度定期総会出席の方々(一部)

□日直体制の抜本的改善
東広島市在住会員の中から、六十九才以下や支障のない月、水、金の中で、社友会室での「日直」をお願いしております。現実には年金支給開始年齢の引上げなど、就労比率の増大により、日直対応可能会員の比率が減少しています。同時に「社友会室」は会員相互の歓談や、情報交換の場として「サロン」の機能も保持し、お茶も使用できる環境も整備が必要と考えています。そのため「当番」でない「日直」を目指し、改善を図りたく検討を進めます。

役員会だより

本年1月から3月の役員会で検討された内容です。

1. 役員会からの皆様へのお願い事項

- ①社友会名簿の不用意な流失による悪用の事実が判明しました。
- ②本部発行の名簿はもとより、広島支部名簿も厳重管理して戴き、外部に流失無きようお願いいたします。
- ③配布資料を長期に亘って受け取りに来られていない方がかなり居られます。
配付棚に入りきれず、やむなくテーブルに並べたり、さらに配付袋にも入りきらずダンボール箱に入れたりもしています。
月に1度は是非、社友会室にお越し戴きますようお願いいたします。
- ④調査依頼事項に対して、なかなか回答して戴けない方がいらっしゃいます。
今後調査依頼に対しては、受領後速やかに回答して戴きますようお願いいたします。

2. 訃報連絡について

アンケート調査結果に基づき、5月よりの正式実施に向けて準備中です。
暫定処置として「連絡不要」とされた方への連絡中止、メール連絡希望の方への電話連絡中止とメール連絡への変更は、即実施させていただきます。
なお電話連絡ご希望の方への連絡方法変更については、5月より実施します。
皆様のご理解とご協力をお願いします。

3. 招待会員について

招待会員とは、亡くなられた会員の配偶者や他の方々を表現します。前号でご案内のこの制度は、最終整備をしており、近日正式運用を行います。
社友会の同好会や、旅行に参加を希望される方がおられましたら、この機会に是非、加入ご検討下さい。

活動中の同好会は11サークル

あるこう会

囲碁・将棋

釣り

ゴルフ

ボーリング

パソコン

グランドゴルフ

絵手紙

写そう会

ダンススポーツ

平成あそび隊

4. 広島支部の歩み

社友会広島支部の結成以来の歴史をまとめています。
社友会室にお越しの際は是非ご覧下さい。

5. 日直当番表(2005年5月～8月分)

上記日直当番表を発行しましたが、下記注釈が記載漏れになっていましたのでご連絡します。

「なお親睦旅行に参加する人が当日日直当番となった場合は日直が居ませんのでご了承願います」
事前に予測し、回避することは不可能なため、万一かかる状況になった場合はご容赦願います。



平成十七年三月の定例役員会

春の親睦旅行ガイドンス

国民保養温泉地『矢野温泉』あやめ荘で

昼食と8種類の温泉入浴を楽しむ。

併せて『上下あやめまつり』を見物

旅行企画 紅葉会
 旅行日 平成17年6月20日(月)
 予定会費 ¥6,500
 正式案内 5月初旬

参考情報 上下町観光協会
 URL <http://www.fuchu.or.jp/~joge/>

こんなとき あんなとき ご一報ください。

住所・電話番号・メールアドレスなどが変わったとき
 長期に海外渡航のとき、病気入院したとき
 など生活環境が変わったとき

シャープ社友会 広島支部 Eメール shayukai-hro@coral.plala.or.jp
 電話(ダイレクトイン) 082-420-1728
 電話(交換経由) 082-428-2401(代) 内線6200
 但し、電話の場合は 月・水・金(祝日は除く)の10:00~15:00の日直担当在室時に限ります。

新入会員のご紹介

2005.1.1~3.末 入会者

ながむら ひでお 中村 日出男さん No.3166	電化システム事業本部	いたに ますお 井谷 増男さん No.3173	通信システム事業本部
しまづ まさおみ 嶋津 雅臣さん No.3167	通信オーディオ事業本部	やまがみ ふじろう 山神 富士郎さん No.3215	九州シャープ設備機器
ひの よしひろ 日野 好弘さん No.3168	藤井寺物流センター	もとでら かずし 元寺 一史さん No.3219	SMC中国統括営業部
やました りょうじ 山下 良二さん No.3169	中国シャープ電機		
すいとろ ちかお 出納 知加男さん No.3170	通信オーディオ		3月末現在広島支部会員数 188名
しらかわ のぶお 白川 伸男さん No.3171	IC事業本部 (福山)		

社

友

短

信

■多田道弘さん逝く。享年61。
入会后1年と少しの短い入会期間だった。恐らく、支部の諸行事には、なにひとつ参加されないままであったと推察される。
広島支部からの弔問は高松在住会員の谷井一夫さんにおねがいました。
謹んでご冥福を祈る。

□前号に続き、小幡友幸さん
今度は「逃がさん！」と言っていた小幡さん。
このほど90cm超の大鯛をゲットした。
その堂々たるサイズに本人もびっくり。
瀬戸内海で成長する黒鯛（広島ではチヌと呼ぶ）は体長50cm程度で「年なし」と尊称されるそうだ。
小幡さんが格闘した大鯛は果たして何歳？



長寸 95cm あったそうです

早速に友人数人を招いてナベと刺身で賞味したそうだが、果たしてお味は...？
因みに包丁さばきを披露したのは、釣り同好会の川田リーダーとか。



□写真同好会「写そう会」リーダーの谷水毅さんとメンバー19名。昨年11月活動開始ながら、早くも12月には尾道での撮影会を企画。
1月の、セミナー&賀詞交歓会には会員の作品を展示し、出席の皆さんに披露していた。
技術と感性と、そして執念と飽くなき向上心とを具体化する「写真」の世界に、挑戦します。

□藤井良幸さん
俗称「朝鮮ベラ」。
勤務先の万里子オバサンにあげた。
「うまくないよ」と念を押したが、「なんのな

んの塩焼きでグー、自分も娘もペロっとたいらげた！」と言ってくれました。
朝鮮ベラもバカにしてはイケン。
（「イケン」とは、広島の方言で「いけない」の表現です。編集担当注）
二月十三日釣行の後日談でした。



編集後記

▽久しぶりに、発行予定日になっても編集が終わらない。桜の便りも昨年に比べて10日は遅れている。私事ながら、昨年末から4回も東京へ行ってきた。そのタイミングと重なった結果でもあるが少々焦燥した。

▽今年の、「春の親睦旅行」は、お花見でも「あやめ」に変わって時期も6月実施となった。どんなお花見になるか、楽しみではある。

▽もともと、今号は8ページで構成すべきであったが、例によって欲ばった結果で12ページになってしまった。反省。

(裕)